

**This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

**Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.**

**Defects in the images may include (but are not limited to):**

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(11)特許出願公開番号

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、前胴周り域と、後胴周り域と、これら両胴周り域間に位置する股下域とを有する使い捨ておむつの前記前後胴周り域いずれかの裏面シート外面に前記おむつを丸めておくために使用可能な粘着テープを有する使い捨ておむつであって、

前記粘着テープが、前記おむつ胴周り方向に延びる一条のテープ片で構成され、その長手方向の中央部が前記前後胴周り域いずれかの幅方向中央部に固着され、残余の左右各側端部が自由変形可能な部分に形成され、

前記自由変形可能な部分のそれぞれが、その両面の所要部位に粘着域が形成されて前記テープ片の長手方向に幾重かに折り重ねられ、その重ねられた状態が前記粘着域によって伸展可能に保持されている、ことを特徴とする前記使い捨ておむつ。

【請求項 2】前記自由変形部分は、折り重ねられた状態から伸展した状態へと変化したときに、前記粘着域のいずれかが丸めたおむつの所要部位に止着可能に形成されている請求項 1 記載の使い捨ておむつ。

【請求項 3】前記自由変形部分の幅方向中央部に、前記テープの長手方向に延びるミシン目が施されている請求項 1 または 2 記載の使い捨ておむつ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】この発明は、使用後に丸めて廃棄するための粘着テープを備えた使い捨ておむつに関する。

【0002】

【従来の技術】実開平 5-39531 号公報に開示されたパンツ型使い捨ておむつでは、左右各側部に胴周り方向に延びる一条の粘着テープが設けられており、汚れたおむつは、合計二条のテープを使用して丸めておくことができる。このようにすれば、おむつに汚物が付着していても衛生上好ましい状態で廃棄することができる。

【0003】また、実開平 6-77722 号公報に開示された使い捨ておむつでは、後身頃中央部に上下方向に伸展可能な一条の粘着テープが設けられ、このテープでおむつを丸めておくことができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】前記実開平 5-39531 号公報のおむつを製造するには、左右各側部の粘着テープに対応する二条のテープを用意し、二系統のテープ供給設備を使用してこれらテープを左右各側部に取り付けなければならず、実開平 6-77722 号公報の例のように、粘着テープが一条である場合に比べてテープの調達とおむつ製造設備の点においてコストがかさみがちである。

【0005】また、前記実開平 5-39531 号公報のおむつでは、二条の粘着テープが左右の各胴周り側部に

設けられているから、その側部が内側となるようにして丸めると、粘着テープを利用できない場合がある。パンツ型のおむつを着用しているときに排便があると、おむつの左右各側部を切り開いてそのおむつを脱がせることがある。切り開いたおむつは、便で汚れた部位が外にのぞくことがないように、各側部が内側となるように丸めることが好ましく、そのときに粘着テープを利用できないという事態は避けなければならない。

【0006】また、実開平 6-77722 号公報のおむつの場合には、粘着テープが上下方向に延びているから、おむつを幅方向に丸めるとそのテープを使用することが難しくなる。

【0007】そこで、この発明は、使い捨ておむつを丸めておくための粘着テープを、おむつを幅方向に丸めたときに特に使い易くすること等を課題にしている。

【0008】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するために、この発明においては、透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、前胴周り域と、後胴周り域と、これら両域間に位置する股下域とを有する使い捨ておむつの前記前後胴周り域いずれかの裏面シート外面に前記おむつを丸めておくために使用可能な粘着テープを有する使い捨ておむつを前提にしている。

【0009】かかる前提において、この発明が特徴とするところは、前記粘着テープが、前記おむつ胴周り方向に延びる一条のテープ片で構成され、その長手方向の中央部が前記前後胴周り域いずれかの幅方向中央部に固着され、残余の左右各側端部が自由変形可能な部分に形成され、該自由変形可能な部分のそれぞれが、その両面の所要部位に粘着域が形成されて前記テープ片の長手方向に幾重かに折り重ねられ、その重ねられた状態が前記粘着域によって伸展可能に保持されている、ことにある。

【0010】

【実施例】添付の図面を参照して、この発明にかかる使い捨ておむつの詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0011】図 1 に部分破断斜視図で示されたパンツ型の使い捨ておむつ 1 は、うしろ側から見たものであって、透液性表面シート 2 と、不透液性裏面シート 3 と、これら両シート 2、3 間に介在する吸液性コア 4 とによって構成され、前胴周り域 6 と、後胴周り域 7 と、これら両域 6、7 間に位置する股下域 8 とを有する。前後胴周り域 6、7 は、互いに左右両側縁部で重なり合って接合し、左右の胴周り側部 11、12 を形成するとともに、胴周り開口部 13 と、左右一対の脚周り開口部 14 とを画成している。胴周り開口部 13 の周縁部と脚周り開口部 14 の周縁部とは、それぞれ複数条の弾性部材 16、17 が伸長状態で表裏面シート 2、3 いずれかの内面に接合している。後胴周り域 7 の幅方向中央部の裏

面シート3外面には、汚れたおむつ1を丸めておくときに使用するための粘着テープ19がある。テープ19は、左右各側端部19A、19Bが折り重ねられ、仮想線のように、それぞれが左右各胴周り方向に伸展可能である。

【0012】図2は、図1における粘着テープ19のI-I線矢視図であって、折り重ねられた状態が実線で、また伸展した状態が仮想線で示されている。テープ19は、左右方向の中央部23が裏面シート3外面にホットメルト接着剤24を介して固着され、残余の左右各側端部19A、19Bが自由に變形可能であり、かつ、胴周り方向に伸展可能である。左右各側端部19A、19Bは、その両面の所要部位に粘着材26が塗布された粘着域27を有し、その粘着剤26の作用によって左右各側端部19A、19Bが折り重ねられた状態に保たれている。テープ19は、折り重ねられたときに粘着剤26と対向する面が剥離容易なように表面処理されており、左右の各端部29A、29Bを摘持して引っ張ると容易に伸展する。

【0013】図3は、廃棄するために丸められたおむつ1の斜視図であって、(A)は後胴周り域7の状態であり、(B)は前胴周り域6の状態である。おむつ1は、股下域8が前胴周り域6に折り重ねられた後に、左右各胴周り側部11、12が前胴周り域6を内側に丸められている。図の(B)で明らかなように、粘着テープの左右各側端部19A、19Bが、胴周り方向に掛け回され、左側端部19Aの粘着域27が丸められた右胴周り側部12の外面に止着し、右側端部19Bの粘着域27が丸められた左胴周り側部11の外面に止着している。これらの側端部19A、19Bは、止着するときに図のように互いに上下に離間していると、丸められたおむつ1が上下方向の広範囲にわたって閉じられた状態となり、それだけおむつの汚れた部位が露出しにくくなる。因みに、おむつ1をこのように広く閉じようとするときに、粘着テープが胴周りの一方向にのみ延びるものであると、そのテープの自由変形部分は図示例のものよりもはるかに長いものになり、その取り扱いが煩雑になる。

【0014】汚れたおむつ1を図3のように丸めることの必要性は、次のとおりである。乳幼児がパンツ型のおむつ1を着用しているときに便が排泄され、そのおむつ1を引き下げるようにして脱がせると、便が身体のあちこちにくっついてしまうことがある。それを避けるために、着用したおむつ1を左右の胴周り側部11、12で切り開き、前後胴周り域6、7を分離し、おむつ1を身体から剥すようにして脱がせることがある。こうすると、汚れたおむつで身体をこすることが少なくなる。しかしながら、このように切り開かれたおむつ1では、その切り開かれた側部から汚れた部位がのぞいたり、汚物が漏れ出たりすることがあるから、図示のように開いた

側部11、12それぞれが内側となるように、おむつ1を丸めて廃棄することが好ましい。これがその必要性である。

【0015】また、おむつ1がパンツ型ではなくて、開放型のものであときにも、図3のように丸めることができる。そして、そのおむつの左右両側縁部に粘着性のテープファスナがあれば、それでおむつを丸めておくことも可能ではある。しかしながら、そのようなファスナは、前記実開平5-39531号公報のおむつ同様に、おむつを丸めたときに隠れてしまう可能性がある他に、その長さが必ずしも十分であるとはいえないことがあるから、開放型のおむつであっても図示の粘着テープ19を備えていることが好ましい。

【0016】図4は、おむつ1の実施態様の一例を示す図2と同様の図面である。このおむつ1の粘着テープ19は、左右各側端部19A、19Bの幅方向中央に長手方向へ延びるミシン目30が施されている。かかる側端部19A、19Bは、それを止着するときにミシン目30で切り裂いて使用すると、図3のように止着するときのおむつ上下方向の止着域をさらに広げることが容易になる。この態様は、大人用おむつのようなサイズの大きいものに適用するとよい。

【0017】この発明において、粘着テープ19のテープ基材には、プラスチックフィルムや不織布を使用することができる。テープ19は、その両面の所要部位に粘着域27を形成し、テープ19を折り重ねておくためと、おむつ1を丸めておくためとに使用する。ただし、摘持用の自由端部29は、両面とも非粘着性であることが好ましい。テープ19は、前後胴周り域6、7のいずれにあってもよい。おむつ1は、図示例のように左右両方から丸める他に、一方から丸めて粘着テープ側端部19A、19Bの一方だけを利用することもできる。

#### 【0018】

【発明の効果】この発明にかかる使い捨ておむつでは、胴周り方向に延びる一条の粘着テープが長手方向中央部においておむつに取り付けられ、左右各側端部が胴周り方向に延びるようにしてあるから、二条の別体の粘着テープを取り付ける従来技術に比べて取り付けが簡単になり、コストがかからない。粘着テープの左右各側端部は、おむつを幅方向に丸めたときに隠れることがなく、おむつに止着することが容易である。また、これら左右側端部は、それを止着するときに互いの位置をおむつの上下方向にずらすことができ、そのようにすることで丸めたおむつを幅広く閉じることができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】おむつの部分破断斜視図。

【図2】止着用テープの側面図。

【図3】(A)は丸めたおむつの後胴周り域を見たときの斜視図、(B)は丸めたおむつの前胴周り域を見たときの斜視図。

【図 4】 おむつの一実施態様を示す図 2 と同様の図面。

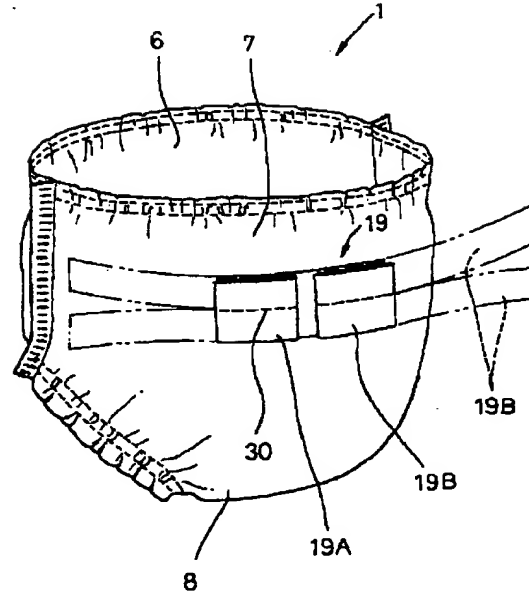
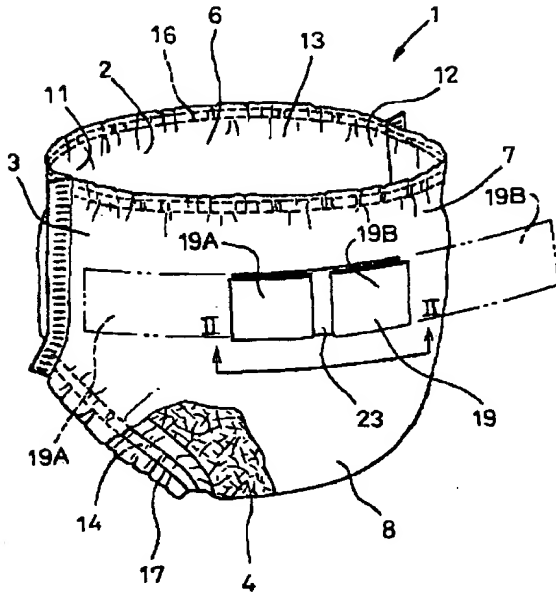
【符号の説明】

- 1 おむつ
- 2 表面シート
- 3 裏面シート
- 4 コア
- 6 前胴周り域

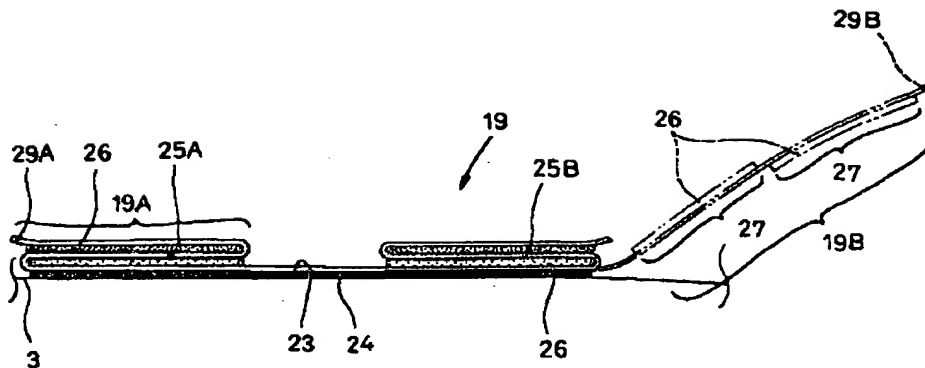
- 7 後胴周り域
- 8 股下域
- 19 粘着テープ
- 19A, 19B 自由変形部分(側端部)
- 23 中央部
- 27 粘着域
- 30 ミシン目

【図 1】

【図 4】



【図 2】



【図3】

